

報道関係者各位  
プレスリリース

平成 27 年 4 月 8 日

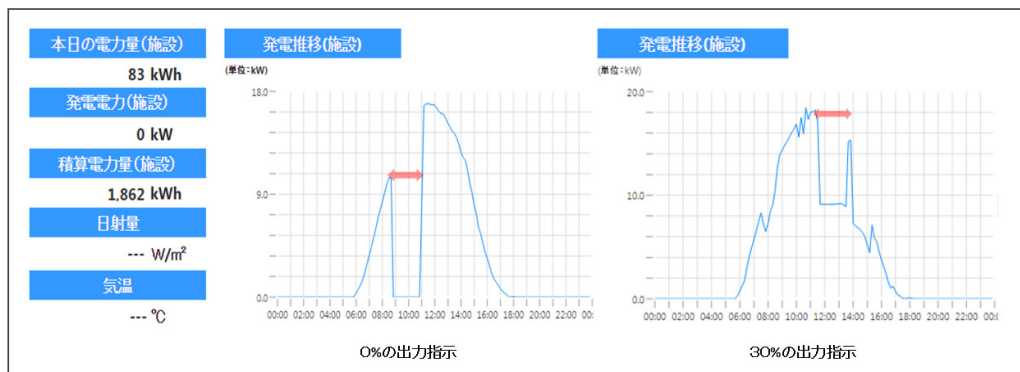
## 太陽光発電用パワーコンディショナの出力制御対応について

田淵電機株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：貝方士利浩）は、本年 1 月 26 日に施行された新たな出力制御ルールに対応する太陽光発電用パワーコンディショナ製品（EneTelus）の出荷を 4 月より順次開始しますので、お知らせいたします。

当社は省令改正後、新ルール適応に向けて全社をあげて取り組み、三相 9.9kW、単相 9.9kW、単相 5.5kW、単相 4.9kW など全モデルについて 3 月中に JET 認証を取得いたしました。当社パワーコン製品は従来より、リモコン（単相用）、マスターボックス（三相用）という機器により情報蓄積および外部通信が可能な制御システムを採用しており、いち早い対応を実現しました。

また、すでに自社の発電所において、クラウドによる双方向での通信機能を構築し、時間と制御率（0-100%）が指定可能な制御システムの実証実験を完了しており、電力会社の多様な方針にも即応できる体制を整えております。出力制御では電力会社サーバとの通信が必要となりますが、野立てなど通信回線が無い発電所でも安心してシステムが使用できるよう、3G 通信のパッケージも用意しております。さらに今後は、“EneTelus クラウド”を立ち上げ、遠隔監視サービスなどにより付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

当社発電所設備の出力制御システムの実証画面



クラウド上で出力制御  
スケジュールを設定



2015/3/30(月) 08:30 から 11:00 まで 0% で録画